



他のニュースも、ホームページで随時更新中!

「湯口支店だより」が県最優秀賞! 支店から積極的な情報発信を実践



受賞を喜ぶ高橋組合長(左)と湯口支店長

J Aは、J A若手県中央会が主催する「令和5年度支店(所)だよりコンクール」で、最優秀賞を受賞しました。審査は、令和4年8月から令和5年7月までに発行された支店だよりが対象で、J Aからは「湯口支店だより」が出品しました。記事内容や誌面構成などが高い評価を受け、3月27日、高橋利光組合長が表彰を受けました。

今シーズンも笑顔で営業開始! 注文の多い矢沢かあちゃん市

女性部矢沢支部産直の会「注文の多い矢沢かあちゃん市」は3月14日、矢沢支店前(花巻市高木)で今シーズンの営業を始めました。

同日は、ハクサイやネギ、ダイコンなどの野菜、手作りの加工品、漬け物など豊富な品ぞろえで来店客を迎え、買い物をした方にはサービス品として野菜や加工品などをプレゼントしました。佐藤美栄子会長は「来ていただいたお客さんや部員たちと一緒に話しているだけで元気が湧いてくる。今年もたくさんの人たちに来店してほしい」と笑顔で話しました。

同会は冬期間を除き、毎週木曜日の午後1時半〜3時に営業しています。



ぜひお立ち寄りください!

高品質生産賞き農産局長賞 佐藤秀明さん・徹さんが表敬訪問



受賞を喜ぶ佐藤秀明さん(左から2人目)と徹さん(同3人目)

花巻市高木でブドウを栽培する佐藤秀明さん・徹さん親子は、第25回全国果樹技術・経営コンクールで農林水産省農産局長賞に輝きました。

「佐藤ぶどう園」ではシャインマスカットを中心に約10種類を栽培し、6次産業化にも力を入れていきます。生シーズンとジューズは2016年の伊勢志摩サミットで提供されるなど、国内外から高い評価を受けています。

3月18日には高橋利光組合長と花巻市の上田東一市長に受賞を報告。秀明さんは「品質を追求し、消費者に喜んでもらえるブドウを作りたい」と話し、徹さんは「担い手確保に向け、若年層が魅力を感じる取り組みを展開したい」と意気込みました。

栽培管理の重点を確認 花巻市内で水稻栽培指導会を開く

J Aは3月7日から15日にかけて、花巻市内の12会場で水稻栽培指導会を開きました。

12日に石鳥谷東支店(同市石鳥谷町)で開いた指導会には生産者約30人が参加。J A職員は昨年の気象状況を説明し、融雪後の排水管理や浅水代かきの実施など、ガスわき対策の徹底を呼び掛けました。また、収穫時期について「昨年は高温の影響で例年よりも刈り始めが早かった。適期の収穫を心掛けて、胴割粒や白未熟粒などに気をつけてほしい」と話しました。

参加者は、令和5年度の生育状況や令和6年度の栽培重点事項を確認し、栽培管理について理解を深めました。



指導会の内容に耳を傾ける参加者たち

(株)西部開発農産・成田文歌さんが最優秀賞 第10回肥育部会女性部枝肉研究会



最優秀賞を喜ぶ成田さん(前列中央)

肥育部会は3月22日、東京食肉市場(東京都港区)で「第10回花巻農協肥育部会女性部枝肉研究会」を開き、黒毛和種24頭が出品されました。

最優秀賞には北上市の(株)西部開発農産に勤める成田文歌さんの出品牛(去勢・枝肉重量55.5kg・BMSナンバー12)が選ばれ、ロースの張りとももの充実が高く評価されました。

同日、花巻市で行われた褒賞授与式には、部会員や関係機関など約30人が出席。成田さんは「これからも若手から良い牛を出荷できるように頑張りたい」と意気込みました。

【優秀賞】高橋郁子さん、菊池まさ子さん
【優良賞】千葉洋子さん、熊谷史さん、菊池節美さん

生産販売活性化を目指す 二子さといも生産組合通常総会



令和5年度出荷者表彰を受賞した生産者たち

二子さといも生産組合は3月19日、J A旧二子店舗(北上市二子町)で令和5年度の総会を開きました。

生産者やJ A、関係機関など約40人が出席。令和5年度の生産販売経過を振り返り、令和6年度目標を数量120t(前年度比122%)、販売金額5500万円(同比113%)に定めました。鈴木賢二組合長は「昨年より一層、活動が活発になることを願っている。天候に注意して種出し作業にあたってほしい」と話しました。

また、同日は生産者の出荷意欲向上をはかる目的で表彰式を実施。令和5年度、販売金額と品質で優秀な成績を収めた生産者8人を表彰しました。